

令和6年度分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年度分について、輸出額は「自動車」「半導体等製造装置」などが増加したことから、対前年度比5.8%の増加となった。輸入額は「原粗油」「アルミニウム及び同合金」などが増加したことから、同7.6%の増加となった。

その結果、差引額は8兆6,962億円（同4.3%の増加）となった。

名古屋港における**輸出額、輸入額、差引額がいずれも過去最高**
名古屋港における差引額は、**平成10年度以降27年連続 全国港別（空港含む）第1位**

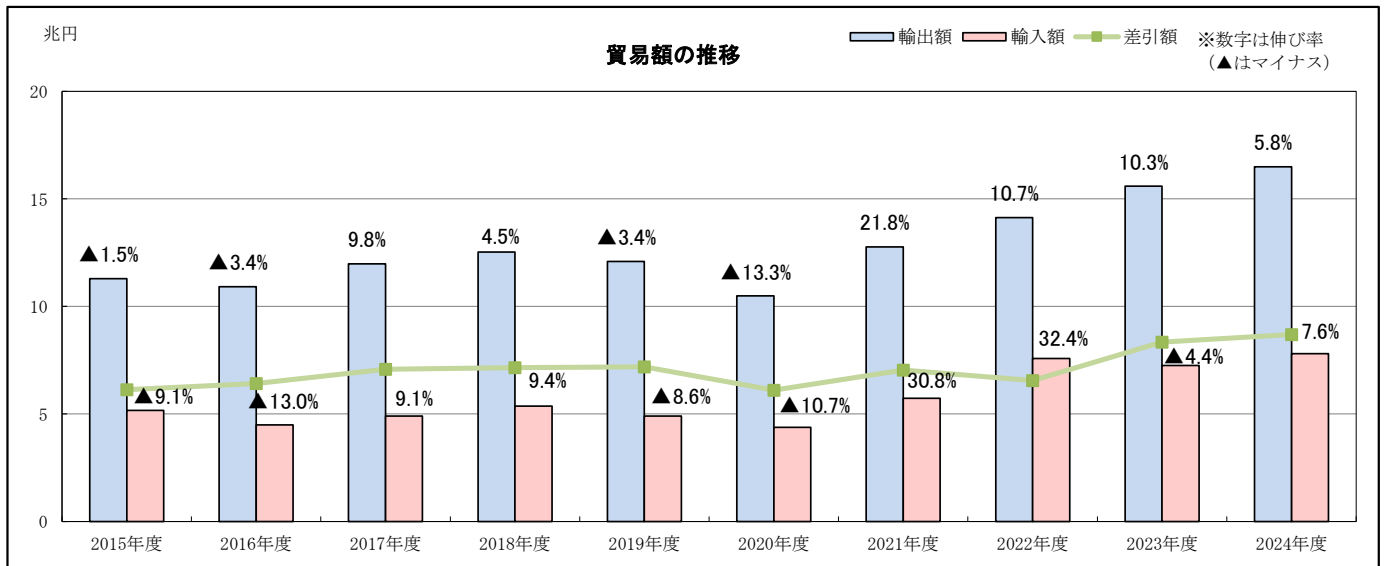
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年度比による
また、★印は名古屋港において全ての年度を通じて過去最高を示す（1979年度以降のデータを基礎として比較）

〇総額

区分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額	伸 率
名古屋港	★ 16兆4,982億円	+5.8%	★ 7兆8,020億円	+7.6%	★ 8兆6,962億円	+4.3%
	4年連続の増加		2年ぶりの増加		2年連続の増加	
	順位	過去 1 位	順位	過去 1 位	順位	過去 1 位
管 内（名港シェア）	25兆4,733億円（64.8%）		14兆3,830億円（54.2%）		11兆0,902億円（—）	
全 国（名港シェア）	108兆9,346億円（15.1%）		114兆1,563億円（6.8%）		▲5兆2,217億円（—）	

〇主な増減品目

	概 況 品 名	金 額	伸 率	寄 与 度	増 減
輸 出 増 加	(1) 自動車	★ 5兆1,226億円	+10.7%	+3.2	4年連続の増加
	(2) 半導体等製造装置	★ 3,954億円	+69.5%	+1.0	2年ぶりの増加
輸 入 増 加	(1) 原粗油	6,435億円	+17.1%	+1.3	2年ぶりの増加
	(2) アルミニウム及び同合金	★ 4,041億円	+21.2%	+1.0	2年ぶりの増加



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。